

北朝鮮による日本人拉致問題に対する理解を深めるための広報啓発
を推進する決議（案）

北朝鮮による日本人拉致問題は、我が国の主権及び国民の生命と安全に関わる最重要課題であり、その解決のためには、一層の世論喚起が不可欠である。

特に、若い世代に対し、拉致問題が過去の出来事ではなく現在も継続する人権侵害であり犯罪行為であるとの理解の浸透を図ることが重要である。

和歌山県議会では、令和3年12月17日に「北朝鮮による日本人拉致問題に対する理解を深めるための取組を推進する決議」を議決するなど、積極的に啓発活動を推進してきたところである。

国においては、近年、拉致問題担当大臣と文部科学大臣の連名で文書を発出し、学校等においてこれまで以上に拉致問題に関する映像作品等を活用するように求めている。

これを踏まえ、学校等でのアニメ「めぐみ」、映画「めぐみー引き裂かれた家族の30年」、「拉致被害者御家族ビデオメッセージ～必ず取り戻す！愛する家族へ～」等多様な媒体の活用や「北朝鮮人権侵害問題啓発週間作文コンクール」への参加等を通じて、未来を担う若い世代が拉致問題について学び、理解を深める機会を、より一層充実させていくべきである。

よって、和歌山県議会は、北朝鮮による日本人拉致問題解決に向けた世論喚起を加速させるため、県、県教育委員会、市町村及び学校他関係機関とともに、拉致問題についての理解の増進を図る広報啓発等の取組を推進していくことをここに決意する。

以上、決議する。

令和8年6月26日

和歌山県議会
(提出者)
岩田 弘彦
長坂 隆司
岩井 弘次
中西 徹